

2018

7

July
No. 304

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



声かけあい楽しくプレー

夏季ビーチバレー大会 (4ページに関連記事)



交通安全は家庭から 第48回三島町交通安全母の会総会

第48回三島町交通安全母の会総会は5月16日に町民センターで行われ、平成29年度の事業報告と決算報告、今年度の事業計画と予算案が承認されました。今年度も町、会津坂下警察署や交通安全協会など関係機関と連携し、交通事故防止県民総ぐるみ運動での街頭指導や飲酒運転防止のための啓発活動などを行います。町民の皆様も事故に遭わないよう気をつけましょう。



人さんの看板をつくろう！ 三島小学生が工人まつり出店者の看板を作成

5月30日～31日、町民センターで第32回ふるさと会津工人まつりで各出店者が掲げる看板作りが行われ、三島小学校の2年生から6年生までが参加しました。生活工芸アカデミー生、生活工芸伝承生や生活工芸館職員の助言を受けながら、子ども達は店名や作品を見ながらイメージをふくらませ、思い思いの絵を看板に書いていきました。



島に住みたいを叶える住宅に 移住促進住宅上ノ原団地整備工事 安全祈願祭

移住促進住宅上ノ原団地整備工事の安全祈願祭は宮下地区上ノ原地内で6月4日に行われ、矢澤町長などが出席し、鍬入れおよび玉串を奉納しました。

上ノ原団地は木造平屋建て3棟6戸整備され、平成31年3月末の完成を目指して工事が進められます。

国の重要文化財指定を受けた出土品を展示 荒屋敷遺跡出土品展

平成30年3月に国の文化審議会から文部科学大臣へ、国の重要文化財に指定するように答申された荒屋敷遺跡（縄文時代）の出土品展が、6月5日から7月1日まで交流センター山びこで開催されました。

6月5日には会場でオープニングセレモニーが行われ、坂内教育長などのあいさつがありました。その後、昭和60～62年にかけて行われた発掘作業に携わった、小松順太郎さん（西方）による展示品の解説がありました。全国的に珍しい木製品や繊維製品、漆塗製品などの用途の説明や、出土品から考えられる当時の暮らしなどを発掘作業時の様子なども交えて語られ、参加した皆さんは解説を聞きながら展示品を細かく観察するなどして、当時の暮らしに思いをはせていました。



町最大のイベント「第32回ふるさと会津工人まつり」は6月9、10日の2日間、生活工芸館前で開催され、全国各地から工人が集まり、手作りの品々が並びました。また、県内外から2日間で約2万6千人の来場がありました。

会場ではヤマブドウ・マタタビ・ヒロロなどの編み組細工が変わらぬ人気で、来場者は作品を熱心に眺めたり手に取ったりしながら、工人たちとの会話を楽しんでいました。

また、宮下地区内で「平成30年度てわっさの里まつり」も同時開催され、編み組細工をはじめ、染め織物、木工品、陶器、ガラス細工、古布のリメイク品、布製品、手作りのアクセサリや小物など、工人まつりとは一味違った作品が並び、来場者の目を楽ませていました。

工人の祭典、今年も盛況

第32回ふるさと会津工人まつり
平成30年度てわっさの里まつり

生活工芸アカデミー受講生から「生活工芸伝承生」に

若者定住による地域活性化と生活工芸技術の担い手育成を目的とした、1年間の農山村生活体験および生活工芸技術習得プログラムである「三島町生活工芸アカデミー」の第1期を修了した2名が【生活工芸伝承生】として4月から活動しています。

生活工芸伝承生とは、生活工芸アカデミーでの経験を生かし、ア



さかい ともこ
坂井 智子さん
(神奈川県出身)

三島町の皆さんに温かく見守られ、移住2年目の生活を楽しく過ごしています。本当にありがとうございます。現在、生活工芸館にてアカデミー2期生のサポートを行っています。材料採取の時期では山に入ることも多く、会津地方の自然の豊かさを日々感じ、その恵みに感謝しながら編み組細工に取り組みたいと思っています。



いぐち めぐみ
井口 恵さん
(神奈川県出身)

カデミー受講生に知識や技術を伝えることのほか、生活工芸技術の保存、資源の調査研究、産地としての振興策の検討などを主な活動内容としています。

活動においては、地域文化や慣習の調査、生活工芸製作技術の聞き取りなどでお伺いすることもありますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

田畑を耕し、山に入り、自然からの恵みを頂く。自らの手を、身体を動かして創り出す三島町での暮らしに心がときめく毎日です。便利で簡単でせわしない現代だからこそ、手間と愛情を存分に楽しみながら、三島町の暮らしの中に溢れる、尊くて貴重な知恵や技を習い繋いでいきたいと思っています。編み組細工を紐解いて見えてくる、皆さまの物語に触れることができれば嬉しいです。

名入地区（諏訪ノ上）名入ざる菊の会の ざる菊植栽作業

文・写真 五十嵐公男さん（名入）



名入ざる菊の郷プロジェクト実行委員会（略称：名入ざる菊の会 代表五十嵐公男さん）は、5月27日と6月2日の両日、ざる菊の植栽作業を会員12名で行いました。今年度は新区画2ヶ所、区画拡張1ヶ所と植栽面積も増え、1400本程植栽しました。また、昨年に続きざる菊の苗の無料配布も好評で、中には1年前から予約しておられる方もあり、計400本を配布しております。これは、会の名称にもあるように、三島町をざる菊の郷にしようとする会員の強い意思表示でもあります。

10月中旬には、新苗18本を含め1400本を植栽している名入ざる菊園、そして丹精込めて育てている各家庭のざる菊が、一斉に咲き誇ることを願っております。

植栽作業に先立ち以下の作業も行いました。

5月13日・14日：ざる菊の苗作り

5月16日・17日：ざる菊植栽区画の耕起

5月20日・21日：ざる菊の畝立て作業

※会員募集※

地区内外問いませんので、積極的に作業に参加出来る方のご入会を、会員一同心よりお待ちしております。

○問合せ先

名入ざる菊の会 五十嵐 ☎0241（42）7780 または 090 8597 4066

龍昌寺における曹洞宗布教会

文・写真 五十嵐公男さん（名入）



6月21日、名入地区中央に位置する龍昌寺において、曹洞宗21教区の布教会が行われました。この布教会は、21教区に属する19寺院が、持ち回りで毎年行っているもので、本年は龍昌寺にご住職8名、檀信徒約100名が参列し、厳粛に執り行われました。冒頭、川井地区松音寺の斎藤ご住職（龍昌寺も兼務）と、全てのご住職による般若心経の読経が行われた後、特派布教師、澤英俊老師（宮崎県児湯郡都農町・徳泉寺）の講話に移りました。始めに、東日本大震災被害者へのご冥福をお祈りした後、柔道全日本チャンピオン篠原選手との出会い、平成22年に宮崎県で発生した口蹄疫の辛く悲しい経験、松尾芭蕉の逸話、座禅とは等のお話をして頂きましたが、参列者の皆様は我が事のように真剣にお聞きになっておられました。布教会への参加を通じて、座禅を通して自分を律し、相手への思いやりを持つことが大切であると感じました。

次の龍昌寺における布教会は19年後になるそうです。

お金の大切さを学ぶ

金融教育出前講座「あいしんマネースクール」



会津信用金庫がお金の大切さを教える地域貢献活動として実施している、「あいしんマネースクール」は5月31日に三島小学校で開催され、会津信用金庫の職員の方が講師として5年生教室を訪れました。児童たちは金融機関の役割などについてクイズ形式で学んだほか、お札を数えたり1億円の重さのアタッシュケースを持ち上げるなど、楽しみながらお金の大切さを学んでいました。

美

しいふくしまの創造に貢献

西方共有財産管理会がふくしま森づくり大賞を受賞

西方共有財産管理会（会長：二瓶辰雄さん）がふくしま緑の森づくり大賞を受賞し、6月14日に福島市で行われた福島県森林・林業・緑化協会総会の席で表彰されました。これは、ボランティアによる森林整備活動や普及啓発活動を通じて緑豊かな美しいふくしまの創造に貢献した、優れた個人や団体などを表彰するもので、三島町内の個人・団体では初めての受賞となりました。



（写真左から）
青木喜章前会長、二瓶辰雄会長、矢澤町長

楽

しく汗を流して交流深める

夏季ビーチバレーボール大会

夏季ビーチバレーボール大会が6月13・14日に三島中学校体育館で行われました。年齢制限のある1部、制限のない2部に分かれて試合が行われ、1部はオール桑原チーム、2部はダムリックチームがそれぞれ優勝しました。回を重ねるごとに全体的にレベルが向上し、白熱した試合が展開されました。



1部優勝 オール桑原チーム



2部優勝 ダムリックチーム

今

年もきれいに咲きました

宿根カスミソウ初出荷



当町産の宿根カスミソウは、JA会津よつばカスミソウ部会を通じて、全国の市場に出荷されています。所属する当町の3名の生産者は今年の初出荷となった6月21日、川井地区の集荷場に集まり、品質などを確認しました。出荷作業はこれから10月下旬まで毎日のように続きますが、部会では良品質のカスミソウを全国に出荷できるように取り組んでいきます。



春日神社にて植樹祭

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

6月23日、松原春日神社境内において、五葉松の記念植樹を阿部通利地区神社総代長と役員2名の出席により実施されました。

この事業は、去る6月10日の第69回全国植樹祭が天皇皇后両陛下ご臨席のもと、南相馬市にて開催されたことについて、県民として心からの歓待と感謝の意を込めて福島県神社庁より頂いたもので、地区の皆様の鎮守の森に厳粛に植樹されました。終わりに記念写真を撮り、地区の繁栄と無病息災を願い終了しました。

「みんな元気に楽しい1日を」テーマの
西方健康を守る会運動会

文・写真 本名与四郎さん（西方）

「第21回西方健康守る会の運動会」は6月3日の午前9時よりふるさとセンター体育館で行われました。西方の住民90名以上が老若男女を問わず一堂に会し、開会式を行いました。開会式の中で、3つの演技上の注意として「みんな元気に」「たのしい」「いちにちを」を画用紙に書き、住民の前に提示し、和やかな雰囲気となりました。ラジオ体操を皮切りに1組から14組までの隣組が紅組と白組に別れて様々な競技が行われました。最後の種目として、住民全員が5円（ご縁）玉の穴にひもを通して首につるした「NKMでご縁がありますように」が行われました。老いも若きも一人一人が真剣にじゃんけんをし、勝者が相手の首につるした5円玉をもらい、最後の優勝者を決める競技でした。見事、優勝に輝いた方は、星幸衛さんでした。和やかな雰囲気の中、趣向を凝らした運動会が繰り広げられ盛会裏に終了しました。ちなみに、「NKM」とは、西方 健康を守る会の頭文字をアルファベットで表現したということでした。



虫の供養と五穀豊穡を願い「虫送り」

文・写真 本名与四郎さん（西方）

6月9日に西方地区伝統である「虫送り」が行われました。

午前8時30分より中学生や保護者、地区役員の方の協力の下、竹を切って運ぶグループと山車の周りに使う桑の木などの雑木を切って持ち寄るグループに分かれて活動を開始しました。正午近くまで時間を費やして、幼児などに持たせる「提灯」や道案内を行うための「松明」、山車の飾り付けなどを完成させました。空が夕暮れに染まる午後7時から西方の郷倉をスタートして西方のメインストリートを練り歩きました。西方地区の幼児、小学生、中学生だけでなく近郷近在の子どもたちも参加しました。1ヶ月以上かけて仕上げた手作りの提灯を手に持って、大きなかけ声が星空の光り輝く天空に響き渡りました。



天皇陛下御即位 30 年記念の植樹

文・写真 五十嵐公男さん（名入）



夏でもご神木や雪見の大イチョウで涼しく感じられる諏訪神社境内で、6月24日、天皇陛下御即位30年を記念し拝領した榊の苗木を、諏訪神社の総代（総代長 二瓶政一さん）が参加し植樹しました。

この苗は、6月10日に天皇、皇后両陛下が全国植樹祭と、東日本大震災の被災者との懇談のため、南相馬市を訪れたことと、御即位30年を記念し頂いたもので、樹高は1m30cm程の苗でした。植樹した榊の右隣には、「第六十九回全国植樹祭記念（南相馬市）」と「奉祝 天皇陛下御即位三十年」と記された標柱と、神社左側には懸垂幕を設置し、草刈りを含め1時間余りで作業は終了しました。

福一満虚空蔵尊の階段の芝桜が咲きました

文・写真 中兵一郎さん（大石田）

去る5月28日の写真です。残念なことですが今年は見られませんので来年観賞してください。

大石田地区では、町の補助による虚空蔵尊の整備を行っていますが、平成28年に地区の皆さんで植栽しました芝桜が満開になりました。

階段と芝桜がきれいな景色を作っています。一見する価値があると思います。来年はさらに多くの花を咲かせたいと思いますので、ぜひ大石田まで足をのばしてください。

また、平成29年度には大山桜38本、八重桜9本、山吹を隣の土地に植栽しました。今年、4個から7個ほど花を咲かせましたので平成31年度はさらに多く花を咲かせたいと思います。



金龍寺草刈り奉仕作業

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

6月3日、晴天のなか、春の金龍寺境内の草刈りおよび境内の清掃作業を実施しました。毎年地区の檀家の皆様により、10名の回り番で作業しています。現地では、まず金龍寺の目黒忠昭総代長代理より本日の作業について説明を受けた後、草刈り機による事故防止と熱中症対策（水分の補給）を実施してくださいとあいさつがあり、その後作業にかかりました。途中の休憩では飲み物とお菓子が用意され、おいしくいただきました。階段わきの急斜面での草刈りなど予定していた作業は約2時間で終了し、境内全体が大変綺麗になりました。また、作業が無事故で終わり、参加者の皆さんはホッとしていたようでした。



脱水予防に夏野菜をとりましょう

私たちの体は半分以上を水分が占めています。体温を調節したり、栄養素や酸素を運んだり、老廃物を排泄するなど、生きるために重要な役割を担っています。夏はたくさん汗をかくことにより脱水の危険が高くなります。

特に代謝が活発なお子様や体内水分量が少ない高齢の方は水分バランスが崩れやすく、脱水になりやすいので注意が必要です。

脱水予防にはこまめな水分補給が重要です。水分補給という飲み物で補うイメージがありますが、1日3食の食事からも約1リットルの水分補給ができます。そこで、夏を乗り越えるためにお勧めしたいのが**夏野菜**です！野菜の多くは90%以上水分を含んでいるので、野菜は水分補給源となります。野菜サラダを1品追加するだけで約100gの水分補給になります。

特に暑い日や運動するときには水分だけでなく、水分が体に吸収しやすくしてくれる**糖質**や、汗と一緒に失ってしまう**ミネラル**を補給すると熱中症予防には効果的です。

糖質は4%ぐらいが体内への水分吸収をよくすると言われています。野菜に含まれる糖質は3～7%程度と水分吸収がよい糖質割合です。また、ミネラルは、ナトリウムやカリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄分といった栄養素も汗で失うため、野菜メニューで水分補給とともに補いたい成分です。

旬の野菜は栄養価が高いことに加えて、夏の暑さによる熱中症や夏バテ予防に効果的な食品です。気温差が大きかったり暑い日が続くと体調を崩しやすくこの時期だからこそ、しっかり夏野菜を食べて健康を維持しましょう！

食事に積極的に取り入れたり、間食にも野菜を活用してみましょう。



きゅうりは95%が水分だから、1本食べれば約100ccの水分補給になるよ。お祭りの屋台で売っている冷やしきゅうりは、水分補給にもなっているね！

町史編さん室だより

第30回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

『三島町史』資料編「近世」が発刊されたことを記念し、今月号からその内容の一部を紹介していきます。

伊勢参りと御師

「参宮道中記」と呼ばれる伊勢参りなど有名な寺社への参詣行程を記した江戸時代の古文書が全国にあり、三島町でも数冊確認されています。『三島町史』には川井村・西方村・桑原村の五名が幕末の文久元（一八六一）年十二月十一日に立出し、翌年の二月二十一日に帰りついた二ヶ月余りの道中記を解説とともに掲載しています。

旅の道中において一行は伊勢神宮だけでなく、各地の寺社仏閣へお参りしています。越後街道を通り、信州路に出て善光寺に立ち寄り、尾張に入れば妙見様（内津妙見寺）に、津島では天王様（津島神社）に、そして大晦日に伊勢に到着すると御師である堤大夫の案内で正月元日、二日にかけて外宮、内宮の数多くの社を参拝します。七日には新宮、八日には那智、九日には本宮で御師である橋本大夫の案内で熊野大権現やその他の社に参拝しています（新宮、那智、熊野でいわゆる熊野三山）。その後も高野山で遍照光院に、奈良で春日大社や大仏など多くの寺社に立ち寄りま

した。大阪では寺参りのほか芝居見物などもしています。

東北地方の道中記のルートとしては、このまま帰途につくこともあります。一行は金毘羅宮（現在の香川県琴平町）まで足を伸ばしてから、京都を見物、その後東海道を進み江戸へ向かいます。そして奥州街道から壬生道に入り日光東照宮を参詣、会津街道にて若松まで行き、滝谷に帰りついた後、解散となったようです。

手短に紹介しましたが、一日にどれだけ進むのか（村々の里程）、こういった宿にいくら泊ったのか、その他、伊勢や熊野、大阪や京都などの歓待や見物の様子が詳細に記されており、当時の旅をうかがい知ることが出来ます。

こういった伊勢参りなど、参宮に密接に結びついているのが御師（おし／おんし）の存在です。御師は、伊勢や熊野など特定の寺社に属し、その御札などを各地で（手代や先達などといった家来的な立場の人が）配り歩き、人々が参詣ともなれば、宿泊や案内などの世話をする職にある人のことです。御師はそれぞれ活動する地域が決まっており、檀那場などと呼ばれていました。現在の三島町周辺で

図書のご案内

●今月のおすすめ



「なつみはなんにでもなれる」
著者：ヨシタケ シンスケ

人並み外れた発想力をもつなつみちゃんとお母さんのやりとり……大人の方におすすめの絵本です。第10回 MOE 本屋さん大賞第1位の作品。

○利用時間

①～④ 午前9時～午後9時 ⑤・祝日 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。

「だるまさんが」（絵本）
著者：かがくい ひろし

「だるまさんが……」のフレーズで始まる絵本。次のだるまさんがどうなるか予想したり、ポーズを真似してみたり……親子で楽しめる一冊です。



題 名	著 者
「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす	佐 光 紀 子
ヒトは「いじめ」をやめられない	中 野 信 子
最高のオバハン～中島ハルコの恋愛相談室～	林 真 理 子
グラスホッパー	伊 坂 幸 太 郎

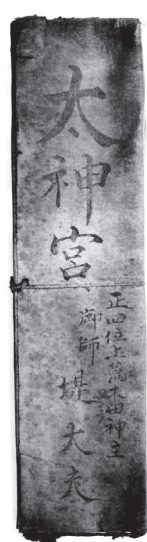
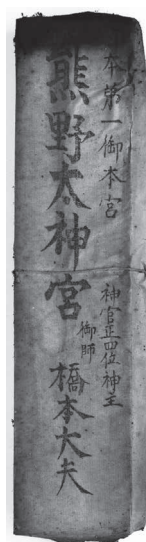
●新着本●

問 公民館 ☎ (48) 5599

（伊勢太神宮） 御師 堤大夫

（伊勢太神宮） 御師 堤大夫

熊野太神宮 御師 橋本大夫





環境研だより

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室

第1回「連載にあたってのごあいさつ」

三島町のみなさま、こんにちは。これから来年3月まで、広報みしまの一部をお借りして連載をもたせていただくこととなりました、国立環境研究所と申します。

国立環境研究所は、昭和49(1974)年に公害を研究する機関として茨城県つくば市にて発足し、最近話題になったヒアリの研究から気候変動の研究まで、環境に関する幅広い調査や研究をしています。名前が長いので、国環研、あるいは環境研と呼び下さい。福島支部は、東日本大震災などから環境を回復するための研究



昨年度行われた協定締結式の様子

を行うため、平成28(2016)年に福島県三春町に設置されました。

私たち、国立環境研究所福島支部は、ご縁あって、三島町、奥会津地域の研究に携わるようになりました。三島町は、桐の主要な生産地であり、編み組細工の盛んなところであり、また自然が豊かな地域です。一方で、全国的に共通している課題にも立ち向かっている地域でもあります。例えば、人口の減少や高齢化、地域の産業の衰退などです。これらの課題を、私たちは地域にある「資源」を有効に活用し、地域の中でそれを「循環」させ、また他の地域とつながり共存(共生)することで解決し、持続可能な地域づくりができないかと考えています。

三島町と国立環境研究所とは、昨年(平成29年)に連携と協力に関する基本協定を結びまし



町内のさまざまな場所で調査しています

た。これはお互いに持っている強みを活かして、共同で三島町と奥会津地域の未来につながる研究を行い、人材を育成しようという内容です。

これから来年3月まで、広報みしまのスペースをお借りして、私たちが三島町や奥会津地域で行う研究について紹介いたします。手入れが行き届かなくなった森林の問題や、木材からエネルギーを生み出すバイオマスについて、また再生可能エネルギーをさらに有効に利用するしくみや、それらがもたらす社会的、経済的効果などについてです。また私たちと共同して研究を行っている大学などの研究者にも登場をお願いする予定です。

みなさまのお役に立てる研究と記事となりますよう、もしお気づきのことがございましたらぜひお知らせ下さい。また、町内で私たちを見かけた際は、ぜひ直接お声がけください。どうぞよろしくお願いいたします。

<筆者紹介>

おおば まこと
大場 真

宮城県生まれです。森林や生物の研究をしています。歩いたり自転車に乗るのが好きです。今度、美坂高原で星を観てみようと思っています。



愛ばんしょ外来のお知らせ

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来(愛ばんしょ外来)」を行っています。

- ①病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ②地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……

「健康のことを考えたいけど、何をすればいいかわからない」「介護のコツを知りたい」「話し相手が欲しい」など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

費用は無料です。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！
(相談コーナーと健康教室は予約不要です)



「みしま健康ポイント」の対象です！

<各コーナーの開催時間のお知らせ>

相談コーナー	午前9～12時、午後1時～午後4時
健康教室	午前10時30分～午前11時
住民交流事業	午前10時～午前11時

宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
7月12日(木)	・相談コーナー ・健康教室「しっかり食べて夏バテ予防」 (講師：管理栄養士)
7月19日(木)	・相談コーナー ・健康教室「熱中症を予防しよう」 (講師：看護師)
7月26日(木)	・相談コーナー ・健康教室「熱中症を予防しよう」 (講師：看護師)

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

7月・8月は特に熱中症が多くなる時期です。
健康教室では熱中症対策についてお話ししますので、ぜひご参加ください



リハビリ室から ～4月から新体制がスタート～

日に日に暑さも増している今日このごろ、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

この時期、田植えなどの作業で疲れがたまっていないでしょうか。畑仕事をがんばって、腰痛・膝痛に悩まされてはいませんか。デスクワークが忙しく、肩こりに悩まされてはいませんか。

この4月から当院リハビリ室は2名体制となりました。機能訓練室も1室追加して施設の充実も図り、皆様に愛される病院、そしてリハビリ室を目指しております。からだに不具合を感じたら、お気軽にご相談ください。

また、病気やけがで他病院の治療を受け、

リハビリのために遠方に通院されている方、当院へ通院したほうが便利だと感じた方は、ぜひ当院リハビリ室を見学にいらしてみたいかがでしょうか。

そして、スタッフが増員となったことから、行政機関や他団体様からの健康増進のためのご依頼などがあれば、可能な限り連携していければと考えております。

新体制の宮下病院リハビリ室をどうぞよろしくお願いいたします。

宮下病院 感染管理認定看護師
倉橋 祐次



会津若松地方広域圏市町村圏整備組合より 新ごみ焼却施設整備事業に係る環境影響評価 準備書の作成および説明会の開催について

- 縦覧の方法
 - 縦覧の場所
 - 会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センター
 - 福島県生活環境部環境共生課
 - 会津若松市役所市民部環境生活課
 - 縦覧の期間（閉庁日は除く）

平成 30 年 7 月 3 日㊤～平成 30 年 8 月 3 日㊤

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
- 意見書の提出方法
 - 意見書の記載事項
 - 氏名もしくは主たる法人名・団体名および代表者の氏名
 - 住所もしくは主たる事務所の所在地
 - 提出の対象である準備書の名称
 - 環境保全の見地からの意見

※様式（会津若松地方広域市町村圏整備組合のホームページからダウンロードできます。
<http://www.aizu-kouiki.jp/>）
 - 意見書の提出場所
 - 縦覧の場所
 - 郵送

〒 965-0858

会津若松市神指町大字南四合字深川西 292 番地 2
会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター
 - 意見書の提出期限

平成 30 年 8 月 17 日㊤まで ※郵送の場合は、当日消印有効

閉庁日を除く午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 受付
- 説明会の開催
 - 説明会の開催日時・場所

平成 30 年 7 月 14 日㊤午後 1 時から

会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター（2 階 大会議室）
- お問い合わせ
 - 担当部署 会津若松地方広域市町村圏整備組合 環境センター 施設整備室
 - 受付時間

午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
 - 住所

会津若松市神指町大字南四合字深川西 292 番地
 - 電話番号

0242（27）9004

不動産取得税の軽減制度について

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。住宅用の土地を取得してから 3 年以内に住宅を新築（中古住宅の場合は、1 年以内に取得）した場合や、住宅を取得してから 1 年以内にその住宅用の土地を取得した場合で一定の要件を満たすときは、これらの土地にかかる不動産取得税を減額する制度があります。

また、三世代同居・近居住宅を取得した際の軽減措置や、災害や公共収用時などにも減免制度があります。

これらの制度は、ご本人の申請により減額・減免するものなので、該当すると思われる方は、詳しい要件及び必要書類について、次のところにお問い合わせください。

問 福島県会津地方振興局県税部
不動産取得税チーム ☎ 0242（59）1400（直通）

燃やせないごみの焼却施設で火災発生 ごみを出す際にご注意ください！

平成 30 年 6 月 15 日午後 4 時頃、会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターの燃やせないごみを破碎処理する施設において、火災が発生しました。

施設で処理したごみを貯留する設備内での火災で、幸い人的な被害や設備の大きな損傷には及びませんでした。大きな被害になりますとごみ処理を停止しなくてはなりません。

今回、火災の原因を特定することはできませんでしたが、燃やせないごみの中には、「カセット式ボンベ」、「ライター」、「マッチ」、「ボタン電池」、「小型充電式電池」などが捨てられており、火災の原因になることがあります。

以下の内容について、ご理解ご協力をお願いいたします。

<ご注意ください>

「カセット式ガスボンベ」はガスを抜いてから、「ライター」「マッチ」は使い切ってから捨てる。

<ご協力ください>

「ボタン電池」、「小型充電式電池」は販売店などの回収ボックスでリサイクルへ。

問 会津若松地方広域市町村圏整備組合
環境センター管理係 ☎ 0242（27）9004



消防署からのお知らせ

〈熱中症に注意しましょう〉

○熱中症の応急処置

1. 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め安静に寝かせる。
2. エアコンや扇風機などをつけ、からだを冷やす。
3. 脇の下、太ももの付け根を冷やす。
4. 飲めるようであれば水分を少しずつ頻回に取らせる。

〈熱中症は予防が大切です〉

○熱中症の予防策

1. こまめに水分（スポーツドリンクなど）を摂りましょう。
2. 日中の暑い時間帯に外出するのを控えましょう。
3. 室内ではエアコンや扇風機を活用しましょう。
4. 屋外では帽子をかぶり直射日光を避けましょう。

※熱中症予防は個人での予防が大切ですが、周囲の人に対する気配りも予防につながります。

熱中症は予防ができる病気です。暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。心臓や肝臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。もし、熱中症の疑いがある場合には、すぐに 119 番へ通報してください。



火事・救急・救助は 119 番まで
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52 - 3032
FAX 52 - 3033



会津坂下警察署からのお知らせ

なりすまし詐欺の被害状況

平成 30 年 5 月末の被害状況（県内）

被害件数 57 件（前年比 + 20 件）
被害総額 7,268 万円（前年比 + 593 万円）
内訳（被害金額順）

・架空請求詐欺	21 件	4,224 万円
・オレオレ詐欺	25 件	1,530 万円
・還付金等詐欺	4 件	749 万円
・融資保証金詐欺	5 件	596 万円

○被害の特徴

オレオレ詐欺が大幅に増加 前年比 + 13 件
その手口は

- ・息子などをかたり「株で失敗した。」「既婚女性を妊娠させた。」からの現金だまし取る
- ・警察官をかたり「あなたのカードが悪用されている。」からのキャッシュカードだまし取る



お金を要求されたら
警察や家族に相談！

JK ビジネス・AV 出演強要について知っていますか？

「モデル・アイドルになりませんか」などと声をかけられ、性行為を強要されるなどの被害が発生しています。

○事例

○AV 出演強要被害

芸能事務所などを装い、モデルやアイドルにならないかと勧誘され、強引にアダルトビデオに出演させられたり、出演を拒否すると高額な違約金を請求された。

○JK ビジネス被害

SNS で、「学校帰りに制服でお客様とおしゃべりするだけ」などというバイト募集を見つけ、店に行くと服を脱ぐように言われ性行為を強要されたり、服を脱がされ裸の写真を撮られた。

○被害に遭わないために

- ①「モデルやアイドルにならないか」と勧誘されたら名刺や事務所名を家族に相談しましょう。
- ②怪しい勧誘は、きっぱりと断りましょう。
- ③簡単な仕事で高収入などというアルバイト募集には、気をつけましょう。

教育長に

佐藤孝信氏が就任

6月定例議会において、教育長に佐藤孝信氏（会津坂下町出身）が選任され、辞令交付式が7月2日に町民センターで行われました。佐藤教育長は教員として長く活躍され、平成12年から平成14年まで三島中学校長として勤務されたほか、会津教育事務所業務次長、会津少年自然の家所長などを歴任しました。退職された後は会津坂下町の八幡コミュニティセンター長として勤務されるなど、公民館活動に携わっていました。就任のあいさつでは、「私は仕事はみんなで、楽しくやることをモットーにしています。教育長の任を精いっぱい全うしていきたいと思います。」と決意を述べられました。



辞令を受ける佐藤孝信教育長

坂内洋二

前教育長が退任

坂内洋二前教育長が、平成30年6月30日付けをもって任期満了につき退任し、7月2日に退任式が町民センターで行われました。坂内前教育長は、任期満了までの3年間、三島小中学校の完全給食の実施や、荒屋敷遺跡の国重要文化財指定、町史編纂事業の推進などに尽力され、三島町の教育の振興・発展に寄与されました。退任にあたり、「この3年間で、一定の成果があったことを嬉しく思います。また機会があれば、町と一緒に活動していきたいと思っています。」と述べられました。



退任のあいさつを述べる坂内前教育長

町長日記（一丁目一番地は）

No. 36

行政の二丁目一番地の施策は何かと問われると、当然町民の皆様が健康で生活を送るために、医療や保健・福祉そして介護施策等の制度の充実と、生活する集落内でのコミュニティの活性化、支援者の条件に応じたきめ細かなメニューの整備だと考えています。

健康であることが人間の基本であり、健康であるからこそ、様々な活動ができます。考えることや、それを活動に移し、様々な人間関係の中でさらに充実した人生を歩むことができると考えます。

しかし、すべての人がそのような人生を歩むことができないのも現実であります。特に年齢を重ねることに、自分の健康状態に不安を持ったりしながら、将来に対するぼんやりとした不安が増幅するのが人間の性であります。

また、健康に対する不安から派生する様々な心配事、一人暮らしに対する不安、また豪雪時の不安、買い物や医療機関等々に対する通院不安が複合的に重なり合い、不安が連鎖的に増幅されていきます。

生活の基本に関わる社会制度としての医療や福祉・保健や介護等の充実強化は、持続可能な山村の生活を支えるうえで大切であります。それと同時にこの変化に対応した社会制度の在り方を国や県に現場から提案していく事が必要であります。

最近過疎・豪雪地帯で公共交通の撤退、人口減少や高齢化による購買力の縮小による、商店の廃業に加え、移動販売車の廃止が大きな問題となっています。山村地域に生きる高齢者は、日常生活の必需品であります、食料品等の購入ができなくなっているのが現実であります。

交通弱者や買い物難民と呼ばれる言葉も、三島町議会においても質問等があります。町も、町民1700人対応した行政制度の在り方、時代の変化に対応した課題解決型の組織改革やスリム化等々を考え、安心して三島で生活するための諸事業を考えていきたいと思っています。その解決策のヒントは、集落の現場にあると考えています。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社